

2023 年度

授業概要

科目名	生体機能代行装置学Ⅲ（代謝）①			授業の種類	講義演習	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 通年
<p>【授業の目的・ねらい】 血液浄化療法について、基礎的知識を身に付け、臨床での実際を理解する。 演習では手技と理論を学び、得られた結果は研究にとどめず、ME2種取得にも繋げる。</p>							
<p>【実務者経験】兵庫県臨床工学技士会会長を経て、現在はかいべ循環器・透析クリニックにて透析医療に従事。 兵庫県臨床工学技士会では災害対策委員会の部門長を担当。</p>							
<p>【授業全体の内容の概要】 前・後期を通じて、実際に臨床業務を行う際に、現場でより理解しやすくするための基礎的内容とする。 演習では、物理的原理を学び、新たな「発見」を促す内容とする。</p>							
<p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】 前・後期を通じて、血液浄化業務に携わることの意義を理解し、高い興味を示すことを期待する。</p>							
回数	講義内容					準備物(教材)	
1	血液浄化療法の歴史と社会的背景について理解できる					プロジェクタ	
2	血液浄化療法の基礎・原理について理解できる					プロジェクタ	
3	バスキュラーアクセス(解剖生理)について理解できる					プロジェクタ	
4	バスキュラーアクセス(穿刺・管理)について理解できる					プロジェクタ	
5	浄化器の性能評価について理解できる①					プロジェクタ	
6	浄化器の性能評価について理解できる②					プロジェクタ	
7	血液浄化法について理解できる①					プロジェクタ	
8	血液浄化法について理解できる②					プロジェクタ	
9	演習①(流量試験)					演習機材	
10	演習①(流量試験)					演習機材	
11	演習①(流量試験)					演習機材	
12	演習①結果発表会					プロジェクタ	
13	透析液組成について理解できる①					プロジェクタ	
14	透析液組成について理解できる②					プロジェクタ	
15	透析液清浄化について理解できる					プロジェクタ	
<p>【使用教科書・教材・参考書】 ・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 第2版、竹澤真吾 ほか、医歯薬出版株式会社 ・配布資料</p>							
<p>【準備学習・時間外学習】 準備学習：次回講義範囲について教科書または配布資料をを読んでおく。 時間外学習：要点をレポートにまとめ提出する。</p>							
<p>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として評価する。 提出物評価を20点及、小テスト評価を20点、定期試験を60点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。</p>							

2023 年度

授業概要

科目名	生体機能代行装置学Ⅲ（代謝）②			授業の種類	講義演習	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 通年
【授業の目的・ねらい】 血液浄化療法について、基礎的知識を身に付け、臨床での実際を理解する。 演習では、実際に起こり得ることを理解し、手技を学ぶ。							
【実務者経験】 兵庫県臨床工学技士会会長を経て、現在はかいべ循環器・透析クリニックにて透析医療に従事。兵庫県臨床工学技士会では災害対策委員会の部門長を担当。							
【授業全体の内容の概要】 前・後期を通じて、実際に臨床業務を行う際に、現場でより理解しやすくするための基礎的内容とする。 演習では、物理的原理を学び、新たな「発見」を促す内容とする。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 前・後期を通じて、血液浄化業務に携わることの意義を理解し、高い興味を示すことを期待する。							
回数	講義内容						準備物(教材)
16	水処理装置について理解できる						プロジェクタ
17	透析装置・その他デバイスについて理解できる						プロジェクタ
18	合併症について理解できる①(透析アミロイドーシス・透析困難症)						プロジェクタ
19	合併症について理解できる②(その他)						プロジェクタ
20	透析医療の災害対策について理解できる						プロジェクタ
21	医療事故防止対策について理解できる						プロジェクタ
22	演習②(TMPが理解できる)						演習機材
23	演習②(TMPが理解できる)						演習機材
24	演習②結果発表会						プロジェクタ
25	演習③(手動プライミング・返血の手技ができる)						演習機材
26	透析治療における感染対策について理解できる						プロジェクタ
27	抗凝固法について理解できる						プロジェクタ
28	その他の血液浄化法について理解できる						プロジェクタ
29	透析治療に関わる薬剤と検査について理解できる						プロジェクタ
30	全講義内容についての復習						プロジェクタ
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 第2版、竹澤真吾 ほか、医歯薬出版株式会社 ・配布資料							
【準備学習・時間外学習】 準備学習: 次回講義範囲について教科書または配布資料をを読んでおく。 時間外学習: 要点をレポートにまとめ提出する。							
【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】 試験の結果を100点満点として評価する。 提出物評価を20点及、小テスト評価を20点、定期試験を60点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							